

地 球 温 暖 化 対 策 計 画 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	栄1丁目ホテルシステムズ株式会社
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	愛知県名古屋市中区栄1-17-6
工場等の名称	コートヤード・バイ・マリオット名古屋
工場等の所在地	愛知県名古屋市中区栄1-17-6
業種	宿泊業、飲食サービス業
業務部門における 建築物の主たる用途	ホテル・旅館
建築物の所有形態	賃貸ビル等（賃貸している建築物）
事業の概要	ホテル業
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

公表期間	令和5年7月31日 ～ 令和8年3月31日		
公表方法		掲示 閲覧	（場所）
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先			

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

私たちは、地球温暖化対策の重要性を認識し、事業活動におけるエネルギー使用量を削減することにより環境保全に取り組むことで、環境社会に貢献します。

中央監視システムの導入による一括監視を行うことで効率的な設備機器の運用

(2) 地球温暖化対策の推進体制

【サステナビリティ委員会】

委員長：コートヤード・バイ・マリオット名古屋（以下CY）GM トマ ヴィダル

委員： CY 宿泊部長 CY 料飲部長 CY 総料理長 (株)アサヒファシリティズ 藤井亮太

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和 4 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1, 607	t-CO ₂
①を二室除く（温室効果ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1, 607	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

（１）温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度 令和 4 年度 排出量（実績）		目標年度		令和 7 年度	
			目標排出量		目標削減率	
温室効果ガス 総排出量	1, 607	t-CO ₂	1, 526	t-CO ₂	5. 0	%

項 目	基準年度 令和 4 年度 排出量（実績）		目標年度		令和 7 年度	
			目標排出量		目標削減率	
原単位あたりの 排出量		CO ₂		CO ₂		%

（２）目標設定の考え方

コロナの影響で稼働がそこまで高くない現状に対しての目標設定の為、低めに設定。
--

備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

[illegible]

指針第 1 号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

--

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

・トイレ手洗電気温水器の停止（夏季・中間期） ・センサー式による照明の点灯 ・センサー式による水栓の使用
--

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

・定時退社に努める ・空調・照明の間引き運用
--